

Title	北洛 修學院村道しるべ, 杉浦三郎兵衛編
Sub Title	
Author	武田, 勝藏(Takeda, Katsuzo)
Publisher	三田史学会
Publication year	1927
Jtitle	史学 Vol.6, No.1 (1927. 3) ,p.148- 148
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	書評
Genre	Journal Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19270300-0149

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

取急いで脱稿印刷せられたことは、卷末の記文に、「此表ハ本年三月九日内國勸業博覽會ニ出サン事ヲ乞ヒ、原稿ヲ定整シテ四月六日前記先成リ、五月十一日出品ノ許可ヲ得タリ、七月一日正記稿ヲ脱ス……十一月十一日ニ至リ始テ活版印行ニ付スル事ヲ得タリ」とあるので解る。勿論本書の原稿は疾に出来てゐたものであらうが、その整理と印刷とは比較的短時日を以てなされたものであらう。然るに今回の新版は出版までに實に少からざる年月を費してゐる、即ち例言によると、大正五年八月から同八年八月までに第一稿を、九年十月から十年十二月までに第二稿を了り、十二年一月から清書にとりかかり、全部未だ成らざるに、例の九月の大震災に遭遇され、先生は原稿を抱いて根岸の文彦博士の宅へ逃げられたとある。それ以來空しく二年を過ぎ、十五年に至つて出版に従事することとなり、昭和二年一月を以て出版になつたのである。七十一歳で第一稿を起し、八十二歳で印刷を成功された先生の根氣に對し、自分等後輩は謹んで満腔の敬意を表するものである。

先生の王父君磐水先生が日本に洋學を開かれた最大有力者であることは申す迄もない。御家柄といひ、又先生多年の注意と蒐集とによつて、山の如く積まれた史料の中から、この年表を作られたのであるから、自分等は有難く之を座右に備へて參考に致さう。

(幸田成友)

洛北 修學院村道しるべ

杉浦三郎兵衛編

洛北の修學院村は比叡の西麓爽塏の地に在つて、西南は遠く京畿の山川を眺め、其の離宮林泉の勝風に天下に聞え、昔は櫻花の盛を以て鳴り、今は紅楓の美を以て稱せらる。この妙境に俗塵を絶つて悠悠自適する丘園杉浦三郎兵衛翁は其のゆかりを以て舊修學院村内の名勝を古書古圖に據り、或は實地踏査に據つて親しく調査し、離宮を始め五十有餘所に就いて其の沿革を記述せられ、それに又『修學院關係參考圖書』と題して、翁の書屋雲泉文庫に珍藏の書籍百七十有餘點、地圖約九十種の目錄(書名、編者名出版年月等)と『雲泉莊』並に其の泉亭等の由來記を附載して冊子とし、弘く江湖に頒布せられた。本會も亦其の恩惠に漏れずして一部を寄贈せられた。本會は謹んで翁に敬謝の意を表し且つ翁の老ひて盛々壯なる事を祈る次第である。(武田勝藏)